河辺林通信

建部北町の森から

2015年 11月号 No.211

深まる秋のなかの焼きいもは最高ですよ

11月は紅葉の季節！

11月の森の見どころと言えば、実や種もたくさんできる時期なのですが、やはり紅葉！たくさんの種類の植物があるため、赤に黄色にオレンジにと日に日に色を変え、森を色づかせてくれます。

落ち葉コレクターYのオススメは、ギザギザのアカシデと、ツタの真っ赤な葉っぱです。
森のオススメは「モミジの林」！
葉がきれいに色づくためには夜が冷え込み、日中太陽の光をよく浴びることと言われています。今年はなかなか好条件ではないのか･･･と思っているのですが、さぁどうなるかな？

←モミジの林の紅葉の見頃は11月下旬から

東近江 森の博覧会 12月13日（日）開催！

東近江の森や川の現状やこれからについて、遊びなどを通して知ることの出来る、「東近江 森の博覧会」が河辺いきものの森で行われます。

遊林会も出展し、大きな木でブランコをしたり、木を使って工作したり、そして遊林会の活動日でも人気の薪を使って羽釜で炊いたごはんもあります！ぜひみなさんお越しくださいね。来月号で詳しくお知らせします！

クリスマスコンサート 12月19日（土）！

日本センチュリー交響楽団のバイオリン、チェロ、コントラバス奏者の4名による弦楽四重奏です♪
ロッシーニの陽気な音楽から、誰もが知っているクラシック名曲コーナー、もちろんクリスマスソングも！

12月19日（土）

開場：17時　開演：17時30分
料金；1,000円　チケット発売中です！
お問合せは、0748-20-5211まで♪

モリイコ！のこどもたち

モリイコも6回目折り返し地点です。今回からたき火に挑戦しました！マッチが初めての子も多いので、まずはマッチの練習から。隊長と一緒につけたり、つけられる子が教えてあげている姿も見られました。その後、自分たちで森の中へたきぎ拾いに行き、マッチでスギ葉に着火させ、木を入れ、煙が出たらみんなでうちわで扇ぎました。最後はつけた火で美味しいご褒美をいただき、みんな真っ赤になりながらもいい顔していました！

↑みんな必死にアドバイス中！でも的近すぎ！

モリイコ！Sの6回目は、秋の森を目一杯楽しみました。午前中はいきものをつかみ、つかんだいきものの大きさやかっこよさ、強さなどのランキングを自分達で決めました。

お昼からは「森ンピック2015」と題して探険づくし！的当てや実で絵を描いてみたりといろんなチャレンジや発見がありました。クリアすると隊長からメダルがもらえて子ども達はとても満足気でした。

● 10月の作業だより

第2土曜日（10月10日） 21人

① 草刈り
　ドングリ広場のドングリの実生を守る為、下草を手刈りしました。

② 機械刈り
　水辺の林～ケヤキの林の植栽した区画の維持管理をしました。

③ 水辺整備
　下流域に繁茂しているドクダミやスギナを間引きました。

④ ゲリラ部隊
　林内の道沿いの枯れ枝や枯れ木を高枝ノコギリで除去しました。

⑤ お昼ごはん作り
　炊き込みご飯や豚汁など秋らしい暖かいメニューでした。

梵釈寺（10月1日） 5人

蒲生の岡本にある梵釈寺の裏山での初作業でした。地元の方と一緒に枯れ木や竹などを伐りました。

木ままクラブ（10月22日） 9人

　先月に引き続き竹林整備と、モミジの林の古い柵の撤去、水辺の林のクズやセイタカを退治しました。

第4水曜日（10月28日） 12人

　林内で倒れてしまったシデの枯れ木を回収し、薪にしました。
さらに道路向かいの竹林で枯れスギを2本、ベンチ用に切り出しました。

11月の活動日と作業予定

11/5（木）	新事業 梵釈寺 続き
11/14（土）	竹林整備 草刈りなど
11/19（木）	木ままクラブ モミジの林 整備
11/25（水）	竹林整備 ベンチ作り

朝 9:00～（遅刻可）
　第2土曜日は、9:00より
　1時間ほど観察会を行います

10月観察会

　いつも観察会は何をするか悩みます。
四季折々の自然を感じてもらう、というのが観察会の変わらないテーマなのですが、遊林会の観察会は「参加型」が大きなテーマになっています。
　そして今月も参加型、「竹の器に秋を盛ろう」という観察会になりました。開始早々、草原広場に移動し、お題に挑戦したのですが、さすが！と思わせる作品が続出。

　秋の始まりを感じさせる作品、料亭に飾れそうなもの、ススキと団子（どんぐりバージョン）などなど。
　作った後は、みんなで発表&品評会です。
「土入れて、水やりして使えるものにしたんや～」
「竹の器使ってへんけど、スゴイ！」などなど、みんなでにぎやかにわいわいと、楽しい観察会となりました。

新たな活動をはじめました

　昨年度、理事会や総会で話に上がったのが、新しい事業をできないか、ということでした。
　年間800人を超えるボランティアの方が森を守り、1万人以上の子ども達が森を楽しむ。自然保護と子どもの教育という公共性の高い活動をしている遊林会ですが、知名度はそれほどでもありません。一方で、以前から地元の山を手入れが出来なくて困っているといった相談を受けていたものの、支援できずにいました。
　それらの問題を解決するため、ご縁のあった蒲生岡本町にある古刹梵釈寺の裏山の保全を新たな活動として始めました。これまで培ってきた里山保全のノウハウを活かして、地元の方と一緒に活動しています。
早速、京都新聞さんと中日新聞さんに記事にしていただきました。

　新たに活動を始める事で、「へぇ、こんなことしている団体があるんやぁ」「活動に参加してみようか」「応援したいな」という人が増えることを期待しています。それによって、河辺いきものの森での活動がさらに充実することにつながります。
　これまでの森の活動日に加えて、新しく活動日を増やし、どちらもがんばっていきたいと思います。

編集後記

10月は、森の利用が1年のうち１番のピーク。同時に2団体3団体が当たり前の毎日で、スタッフは目の回るような忙しさでした。でも、その分たくさんの笑顔が見られた日々でもありました。ピークはあと半月ほど続きます。これからも笑顔が見れるよう、もう少しがんばろう！　（綿貫）

【発行者】
特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事　井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電　話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp